

参考様式第30及び参考様式第33の別添3

市街地復興効果促進事業の概要を示す書類

事業番号	★ D 17 - 1 - 15								
要綱上の事業名称	(41) 観光資源発掘・PR事業								
細要素事業名	閑上共同体再生・地域資源再発見事業（平成26年度分）								
全体事業費	12,400,000円								
<p>津波により壊滅的な被害を受けた閑上地区のコミュニティの再生を目指し、ふるさとの良さを再認識し、誇れる郷土として意識を喚起していくため、閑上の地域資源再発見等事業に平成24年度より取り組んできた。</p> <p>閑上の地域文化（人々の何げない生活習慣、言葉など）を資源として再発見するため、コミュニティの外にいる客観的な視点を持つ学生との協働により掘り起こしに取り組んできた。この地域文化（地域資源）を活用して、従来の住民はもとより地区外の人々にも閑上地区に足を運んでいただき、地域文化に魅力を感じてもらうことにより移住促進につなげていくこともねらいの一つとして取り組んできた。具体的には、閑上の魅力について聞き取りし、ふるさとへの思いを喚起するとともに、それを聞いた学生が魅力と感ずる点をクローズアップし成果として取りまとめ、従前住民の回帰と新住民に選択されるまちを目指していくためのツールとしての活用を目指している。</p> <p>これらの調査には、専門的な知見の活用も欠かせないことから、専門家のアドバイスのもと、学生を主体として調査・研究を重ね、「閑上たこやき」、「どんどんやき」といった地元のソウルフードの復活、ゆりあげ港朝市や閑上さいかい市場での各種イベント開催など一定の成果を挙げてきた。</p> <p>平成25年度においては、閑上の地域資源を掘り起すための住民インタビューのほか「旅おこし」に関わる地元人材の育成を目指すワーキング、東京圏における「閑上」のPR等に取り組んだ経過があり、平成26年度においては、これらの成果を踏まえ、閑上地区の地域資源発掘の継続、地域に足を運んでいただくための仕掛けについてさらに調査研究及び体制づくりに取り組むべくかかる予算を措置するもの。</p> <p>本事業の委託先は、平成25年度に引き続き、地元尚綱学院大学の学生等で構成する名取旅おこし講とする。</p> <p>【平成26年度】</p> <p>閑上共同体再生・地域資源再発見等事業委託料 3,500,000円</p> <p>[参考：既に配分事業費]</p> <table border="0"> <tr> <td>平成24年度</td> <td>4,200千円</td> <td>平成26年度</td> <td>3,500千円</td> </tr> <tr> <td>平成25年度</td> <td>4,700千円</td> <td>合計</td> <td>12,400千円</td> </tr> </table>		平成24年度	4,200千円	平成26年度	3,500千円	平成25年度	4,700千円	合計	12,400千円
平成24年度	4,200千円	平成26年度	3,500千円						
平成25年度	4,700千円	合計	12,400千円						

※ この様式は、原則として、参考様式第30及び参考様式第33の別添2に記載した細要素事業ごとに作成してください。

※ 「全体事業費」は、細要素事業（当該細要素事業と一体不可分な事業を含む。）について、全体事業期間を通じての全ての事業費を記載して下さい。

※ 細要素事業の概要を示す図面を添付して下さい。